40th Anniversary

カップゼリー80℃の40周年を記念して
エピソードを募集したところ
約800通もの素敵な思い出が寄せられました。
心温まるエピソードをぜひご覧ください。

娘6才、息子4才、当時入っていた親子劇場の会場で、初めてかんてんぱぱのカップゼリーに出会いました。何の気なしに購入し家で作り子供達に、食の細かった娘も大食の息子も喜んでペロリと完食。それから我家のおやつの定番になりました。
現在は、4人の孫とお腹が出ている主人の為に、30年ンスエ、せっせと作り続けています。

みやちゃん様　64歳

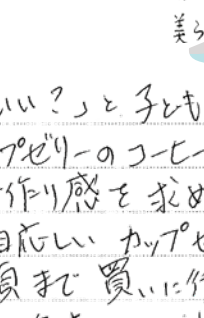
王子アレルギーの私は、市販のケーキやちょっとしたお菓子（カステラなど）が食べられませんでした（今では少量ならOKできます）。なので、我が家のハレの日のデザートといえばかんてんぱぱのゼリー!!（写真のような）凹凸のあるリング型に、缶詰のミカンや黄桃、パインなどを入れて作り（クールとグレープフルーツがお気に入り）、時には生クリームでデコレーションしたことも！それはそれはごうかなものでした。赤いさくらんぼを型の凸にしきつめたところ、ナウシカの王蟲のようになったのも良い思い出です。ちなみに、人生で私が食べたバラバロアニバラバロリアonlyです。洋菓子風のものが自宅でかんたんに作れて、本当にびっくりしたこと、感動したことを今でもよくおぼえています。書きたいことがいっぱいありすぎを…!!

母と姉妹で作るそれらしくとても

まるこん様　44歳

夏休み、小学生の頃、母が仕事で、留守番をしていた時、冷蔵庫に、母の手作りのカップゼリーがあって、さみしさがカップゼリーを1口ぷるんとお口に入れたとたん、冷たくておいしくて、さみしさを忘れることが出来ました。母が休みの時は一緒にカップゼリーを作った思い出が、今も残っています。私も母になり、娘に作ってあげたいなと思います。

モンピー様　35歳



かんてんぱぱとの出会いは33年前の19歳のとき。大学生でガソリンスタンドにくっついている喫茶店でアルバイトしているとき、そのお店でかんてんぱぱのゼリーを作って販売していました。おいしそうやなぁ…と思っていると、店長が「おやつに食べていいよ。」と言ってくれて、初めて食べて感動したのが始まりです。思えば、長いつきあいです…。今では、家族みんなで大ファンです。
当時はピーチゼリーが一番好きでした。今は杏仁です。
86歳の母は、青りんご味が好きです。

これからも、おいしくいただきまーす

みやたん様　52歳

いつも美味しい寒天をありがとうございます。私が子どもの頃母はずっと正社員で働いていましたが、いつもおやつにかんてんぱぱのゼリーを作ってくれました。家に友達が遊びに来るときには水仙型でかわいい青りんごゼリーを作ってくれて、そっと周りから削って食べるのが何よりの楽しみでした。そんな私も３人の子どもの母となり、おやつにかんてんぱぱのゼリーを作るようになりました。あの頃と同じ、水仙型で作ったゼリーがいつも冷蔵庫に入っています。先日、私がゼリーを作っていたときのことです。中学生になる娘が「私もお母さんになったら、子どもにゼリー作ってあげるんだ」と言って、手伝ってくれました。私はお菓子作りが得意ではなくて、一緒にケーキを焼くことはできないけれど、泡立て器で一緒に混ぜながら「こうやって一緒に作った思い出と一緒に家庭の味が受け継がれていくのかな」と嬉しい幸せを感じました。

村口　茉莉様

松本市で産まれ育った私にとって、スーパーにカップゼリー 80℃が並んでいるのは当たり前のことでした。いつでも簡単に作れるし、あのシンプルで可愛い色と素朴な味が大好きでした。関東に上京し、スーパーに行ってまずショックだったのが、「かんてんぱぱ系商品がない！」80℃はもちろん、牛乳寒天もない、、本当に知らないところに来てしまったと寂しさがグッと込み上げてきました。上京から数週間後、実家からの仕送りには 80℃が 2 袋！いまでも忘れません、ぶどう味とオレンジ味でした笑 あの時 80℃にどれだけ元気をもらったか分かりません。今でも仕送りには毎回入れてもらっています。疲れていてもお湯を沸かすだけでできるし、カロリーも低いので今でも私のおやつや夜食、時には朝ごはんにすらなっています。これからもお世話になるつもりなのでぜひ 50 周年、いや 100 周年目指して頑張ってください！大好きだー！

平野　百音様

私が小学生の頃、母が丸いタッパーにいっぱいぶどうのゼリーを作ってくれて、カレースプーンでひとりで頬張った記憶があります。かんてんぱぱとの出会いはその頃から。お花の形をしたタッパーに、フルーツを色とりどり入れて、サイダー味のカップゼリーで作ってもらったことも。もうその母に聞くことは出来ないけれど、その記憶を辿って今は息子たちに作ってあげています。ケーキもプリンも好きじゃない長男は、かんてんぱぱのチーズケーキなら喜んで食べてくれるし、次男は私に似てぶどうのゼリーをタッパーに作ってやるとカレースプーンで独り占めして食べてます。母が教えてくれた体に優しいおやつは、作りながら私に懐かしさを感じさせる心にも優しいおやつです。

伏屋　晴香様

更級の里（千曲市）に生まれ育ち、ナースを目指し、浜松の看護短期大学へ
卒業後、松代総合H.P就職、新人Nsとして3交代勤務。
夜勤の時、一人一人一品ずつおやつを持参するアットホームな病棟でした。
自分は日勤後の夜勤時は寮で仮眠、当時熱湯で簡単かつ衛生的においしく作れるカップゼリーは万能な冬場方にも召し上がって頂けるおやつでした。新人Nsとしての原点を思い出させてくれるカップゼリーです。♡！
美ら海水族館救護室 業務の間、ふと！書きました。恐れ入ります。エンピツ書きで失礼致します。

（大好評）

美ら海Happy Ns様　55歳

「お誕生日プレゼント何がいい？」と子どもに聞いていた時、子どもは「ケーキはいらないからカップゼリーのコーヒー味をいっぱい食べたい。」と即答！ならば少しは手作り感を求めて生クリームをつけたりしながら、子どものお祝に相応しいカップゼリーケーキを作りました。
今では、しっかり自分で店頭まで買いに行き、作っている…!!
長いおつき合いになっています。身体にいいデザート　ありがとうございます。

ちかママ様　54歳

共働きで常に忙しかった私にとって、かんてんパパは強い味方でした。20年以上前から我家の冷蔵庫にはいつもカップゼリー80℃が入っていました。妹はグレープフルーツ味が大好きで、翌日には残り1つになっていることもしばしば。妹はきっと弟の分としてほんの気持ち分を残していたのでしょう。かんてんパパのお陰で妹も息子も体も丈夫、お腹の調子も良好で元気に成長しました。そんな妹と息子も今はそれぞれ2児のママとパパです。孫は4人全員元気な男の子。これからの私の楽しみは孫たちにカップゼリー80℃を食べさせること、きっとよい子に成長することでしょう。

izumi様　59歳

80才になったおばあちゃんの想いです 信州に生まれ嫁ぎ千葉県で子供が生まれ高度経済成長 寒天ゼリーカゼをひき熱が出た時 寒天ゼリー初孫い事に 嬉しい時常に寒天ゼリーでした どんな時でも寒天ゼリーに助けていただきました 夏の暑い時 冬の寒い時いつでもおいしかった事 最近では孫が自分が食べた時 作ってまわりの人達にもふるまいおいしくいただいています いつでも身近にあり しあわせ感を寒天ゼリーからいただいております 我が家では欠せない食品のひとつです 家族みんなで寒天パパさんに感謝です

寒天パパ大好きばあちゃん様　80歳

かんてんぱぱのカップゼリー80℃にお世話になってからもう20年以上たちます。季節の果物を入れたゼリー、プリン、杏仁どうふなど、共働きで忙しい中でも手軽に作れ、子どもたちはとても嬉しそうに喜んで食べてくれました。食べながら「私、お母さんと結婚する！」「僕の子どもにもこのゼリー作ってよ」など可愛いことを言ってくれた子どもたちももう社会人。
4つの動物型でゼリーを作るとなぜかいつもおサルさんが余り（ﾆﾔ）「お父さん、おサルさんでいい？」と聞いていた表情も可愛くて…。時をこえて人を笑顔にする手作りの味は今でも私たちの大切な思い出になっています。ありがとうございます。

りんごたろう様　52歳

「ばあば！〇〇くんはなにゼリー食べに行こう！」言葉のうまくスムーズに作って下さる試食といっぱい食べてもらい、一日中遊び遊んで帰ってました。その子も今は〇〇の高校生。いつ頃発売になったか覚えていませんが、子供でも簡単に作れるレシピ作りセットを購入して、よくごと感覚でいっぱい作ってくれました。今ではなかなかその様な機会はなくて寂しい(笑)今年1月に天国に行ってしまった私の母と、ご近所の奥さんとのガーデニングでのお花畑の写真、大きくうつして額にでも入れましょうね！

ひよことばあば様　67歳

現在小学校3年生の娘（3人兄妹のまいか）が保育園の年長組だった夏のこと。プールの端から端まで泳ぎきることが年組の目標でした。娘は水に顔をつけるのも苦手でしたが、その夏は急に自信をつけ、水に顔をつけ目をあけられるようになると、9mのプールを見事に一人で泳ぎきりました。がんばった娘からのリクエストは「にじいろゼリー」がんてんぱぱのカップゼリー80℃を駆使して7色（7層）の虹色ゼリーをつくり乾杯しました。我が家の夏の思い出です。

なおママ様　38歳

おじいちゃんのうちに遊びに行く日、ぼくはゼリーを作ってもっていきました。
おじいちゃんもおばあちゃんもいとこたちも、みんなが「作ったの？すごいね！すごくおいしい！！」とよろこんでくれました。ぼくはすごくうれしい気持ちでした。
「またつくってきてね！」と言ってくれたので、次に行くときにも、前の日に作って準備しました。でも、朝、冷蔵庫から出して持っていくのを忘れてしまいました…おじいちゃんのうちに着いてから、気づきました。せっかく作ったのに、泣きたい気持ちでした。おばあちゃんは「また今度でいいよ」と言ってくれましたが、お母さんが取りに戻ってくれることになりました。
電車に乗って 2 時間半くらいかけて取ってきてくれました。
みんながまたおいしいと言ってくれて、ぼくは本当にうれしかったです。ものすごくおいしいゼリーでした！また作ります！今度は忘れないように、玄関に貼り紙をしようと思います！

かんてんぼく様

小さい頃、ケーキが嫌いだった私。そんな私に、母は誕生日にゼリーを大きな型でつくり、大好きなフルーツを入れて、「ゼリーケーキ」を作ってくれました。ゼリーのケーキなんて、なんて素敵なんだ！ととてもわくわくした記憶があります。いざ誕生日パーティーが始まり、メインのゼリーケーキを食べる時が。母が型からゼリーを取ろうとした時、うまく型から外れずに「べちゃ！」っと崩れてしまいました。せっかくの誕生日のゼリーが崩れてしまって、私はつい母を怒りました。すると「そんなに怒らなくても！」と、2 人で大喧嘩。私は布団に潜り大泣きしてしまいました。「せっかくの誕生日なのに…」と悲しい気持ちになっていました。しばらくして気持ちが落ち着いてきたころ、母が布団をチラッとめくり、母と目が合いました。するとなんだかおかしくなってしまって 2 人でニヤニヤ微笑みました。「ゼリー食べよっか」という母の言葉に、気持ちを切り替えて、崩れてしまったゼリーケーキを食べました。形は悪かったけど、すごく美味しかったです。
あれから約30年。私も2児の母になり、我が子とゼリー作りを楽しませてもらっています。我が子たちもゼリーが大好きです。そして、ゼリーを作り、型から出すたびに、「うまくいくかな…でも、すこしくらい崩れてもおいしいから大丈夫…！」と、あの日のことを思い出します

湊　優子様

二度の脳梗塞を経て認知症となった父は、晩年便秘にも苦しみました。
嫌いな物には一切箸をつけず、「そんな牛の喰うものは食わない。」と言って野菜を食べてくれません。最近は目玉焼きとあんパンのみで命をつないでいました。
困りきっていましたが、カップゼリー80℃はおいしいと食べてくれて効きました。見事お通じ問題は解消。下痢の多いオムにも効果があり、家族のお通じ問題はカップゼリー80℃のおかげで一挙に解決したのです。3年前に亡くなった父と、カップゼリー80℃の思い出です。

アバ様　62歳

「東日本大震災、心と体を満たしてくれたカップゼリー80℃」
9人家族（じいちゃん 68才 ばあちゃん 40色かあちゃん 12才孫の4世代で
昭和56年 2月 3日生
40年前で仲良く、なかーくお付合いして来ました。忘れられない辛い悲しい思い出があります。10年前平成23年（2011）3/11東北に突然直撃した東日本大震災。食べ物も飲み物もなく、途方にくれかけた時、支えてくれ、大活躍したのがカップゼリー80℃です。ご近所、親類にゼリーをお裾分けし、赤ちゃんから老人までにこにこ笑顔になった事を今でも鮮明に覚えています。
改めてゼリーちゃん40周年に感謝です。ありがとう。これからもよろしくね。

桃次郎様　68歳

私と
カップゼリー80℃の
思い出